

外来ザリガニを捕獲しないで！

飼育や運搬、販売が法律等で規制されています。

1 市内で見られるザリガニ

ニホンザリガニ **在来種**

日本固有のザリガニで、北海道や東北の一部の山や森の中を流れる冷たくて水のきれいな川に住んでいます。

成体の体長は
5～10cm

ハサミに模様や
トゲがありません

額は三角で
トゲがありません

茶～茶褐色の
体色

ウチダザリガニ **外来種** 市内一部生息している地域あり

アメリカ北西部原産。1920年代に食糧難解決策として摩周湖に持ち込まれ、以後、北海道内の河川や湖沼、東北にも生息が拡大しています。あらゆる環境に適応し、魚類、エビ、水生昆虫などの底生生物、水草などを食べて体長15cm以上に成長します。

はさみが大きく、
白い模様があります

頭の先端が
鋭くとがっています

アメリカザリガニ **外来種** 市内一部生息している地域あり

成体の体長は
10～15cm

はさみにたくさんの
トゲがあります

額にごつごつした
トゲがあります

赤～赤褐色の
体色

ミステリークレイフィッシュ **外来種** 過去に捕獲事例あり

2006年に札幌市の天然水域で発見されました。単為生殖します（メスだけで繁殖することができます）。繁殖力もつよく、1匹でも野外に放たれると短期間に数が増え、在来生物に悪影響をあたえます。

小さく細い
はさみもちます

頭胸甲にマブル
模様があります

薄青白～薄茶色の
体色

2 外来ザリガニの影響

生命力・繁殖力の強い外来種の侵入により、生態系のバランスがくずれてしまいます。

在来生物の数を減らす

もともとその地域にいる生き物を食べたり、持ち込まれた伝染病が発生したりすることにより数を減らしてしまいます。

他の生き物の食べ物を減らす

ウチダザリガニやアメリカザリガニは繁殖力が強く、食欲が旺盛です。

すみかをうばう

もともとその地域にいる生き物のエサをうばったり、タマゴをうみつける水草を切ったり、川の岸や底の土をくずしたりして環境を変えてしまいます。

お問い合わせ先

札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課

電話 011-211-2879 メールアドレス biodiversity@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-J02-21-2408
R3-2-1511